1　国語

学校番号	T2101

平成３１年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合ａ	単位数	２	年次	1～４
使用教科書	「新編　国語総合　改訂版」　（大修館書店）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ

・小説・評論を中心とした現代文の読解を行います。
・詩歌の学習もします。
・漢字の練習、作文、文学史などの基礎的な学習も行います。
・声を出して音読をすることも大切にします。
・文章の意味を理解するだけでなく、自分の考えを持ち、文にまとめて他の人に伝えることも行います。

2 学習の到達目標

・小説を読み、登場人物の心情を理解し、想像力を養う。
・評論を読み、論理的な思考力を養う。
・詩歌を鑑賞し、国語の表現力の豊かさに触れる。
・基礎的な漢字の読み書きができる。
・近現代の文学史の流れを理解する。
・作文を書き、文章を書く基本を身につける。
・文章をわかりやすくスムーズに音読する。
・自分の意見を発表し、他の人に伝えることができる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	授業に積極的に参加している。 わからないことは質問し、発問に対して答える。 課題をきちんとこなす。	文章をスムーズにわかりやすく音読できる。 発問に対して、自分の意見を述べる。 自分の意見をまとめ、他の人に対して発表する。	感想文や作文を論理的に書く。 感じたことや考えたことを、文章にすることができる。 詩歌を作ることができる。	筆者の主旨を適切に読み取る。 言葉の意味を正しく理解する。 小説の読解では、文章に書かれていない心情まで想像する。	漢字の読み書きができる。 熟語やことわざのどの知識を持つ。 文学史の流れをおさえる。
主たる評価方法	行動の観察 記述の確認 （配布プリント・課題）	行動の観察 （発問・発表）	記述の確認 （配布プリント・課題） 定期考査）	記述の確認（配布プリント・課題） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （配布プリント・課題） 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期(後期も同じ内容)	エッセー	エッセー 教材: 「ワンダフル・プラネット！」	○	◎		◎	○	a：自然科学に対する興味関心を持つ。 b：大きな声でスムーズに音読ができる。 d：文章の要旨を適切に理解できる。 言葉の意味を理解している。 e:文中の漢字を読み書きできる。	a:発問に対する応答 b:音読の観察 d:プリント・定期考査 e:音読の観察・定期考査
	現代の小説	小説1 教材: 「子供たちの晩餐」	○			◎	○	a：子供だった頃の気持ちを思い出し、登場人物の心情を想像しようとしている。 b：気持ちをこめて、他の人に伝わるように読むことができる。 d：登場人物の心情や情景描写を理解できる。 言葉の意味を理解している。 e:文中の漢字を読み書きできる。	a:発問に対する応答 b:音読の観察 d:プリント・定期考査 e:音読の観察・定期考査
		小説2 教材: 「バスに乗って」	○	◎			○	a：登場人物に感情移入して読む姿勢を持っている。 b：気持ちをこめて、他の人に伝わるように読むことができる。 d：登場人物の心情や情景描写を理解できる。 言葉の意味を理解している。 e:文中の漢字を読み書きできる。	a:音読の観察 b:音読の観察 d:プリント・定期考査 e:音読の観察・定期考査
	評論	評論1 教材: 「生きることと食べることの意味」	○		◎		○	a：科学的な文章を論理的に理解しようとしている。 b：段落の内容をまとめて、話すことができる。 c：文章の内容をまとめて、要約することができる。 言葉の意味を理解している。 e:文中の漢字を読み書きできる。	a:発問に対する応答 b:ペアワークの観察 c:プリント e:音読の観察・定期考査
		評論2 教材: 「何のために『働く』のか」	○		◎		○	a：ワーキングプアなどの社会問題に関心を持つ。 b：スムーズに音読ができる。 c：働くことについて自分の考えを持ち、文章にすることができる。 言葉の意味を理解している。 e:文中の漢字を読み書きできる。	a:発問に対する応答 b:音読の観察 c:プリント・作文の評価 e:音読の観察・定期考査

前期（後期も同じ内容）	近代の小説	小説1 教材: 「夢十夜」	○			◎	○	a：夏目漱石の人物像に興味を持つ。 b：感情をこめて音読できる。 c：読んだ感想を書くことができる。 d：夢の話の不思議さと、小説の魅力を理解する。 言葉の意味を理解している。 e：近代の文学史の流れを理解する。 文中の漢字を読み書きできる。	a:発問に対する応答 b:音読の観察 c:プリント d:発問に対する応答 e:プリント・定期考査
		小説2 教材: 「羅生門」	○	◎		◎	○	a：芥川龍之介の人物像に興味を持つ。 b：感情をこめて、情景が創造できるように音読をする。 d：今昔物語集の原作と比較することで、両作品の理解を深める。 言葉の意味を理解している e：近代の文学史の流れを理解する。 文中の漢字を読み書きできる。	a:発問に対する応答 b:ペアワークによる音読の観察 d:プリント・発問に対する応答 e:プリント・定期考査
	詩歌	詩 教材: 「はる」	○	◎	◎		○	a:詩の創作を通じて、詩のおもしろさを知る。 b:短い詩を味わい深く音読する。 オリジナルの詩を全員に向けて発表する。 c：詩集を読んだ後、オリジナルの詩を作って見る。 e：谷川俊太郎の人物像を理解する。	a:課題の達成状況 b:音読の観察 発表の観察 c：課題の達成状況 e:定期考査
		短歌 教材: 「短歌」	○	◎	◎		○	a：短歌の創作を通じて、短歌の魅力を知る。 b：オリジナルの短歌を全員に向けて発表する。 c：オリジナルの短歌を作る。 e：近代の詩歌の流れを知る。	a：課題の達成状況 b:発表の観察 c：課題の達成状況 e:定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。